

# 一期一会

No.3

天龍小学校

## 祝 ご卒業

「昇己君、彩香さん、ここねさん、陽翔君、陽人君、楓さん、  
ご卒業おめでとうございます」

例年になく暖かな冬で、何となく拍子抜けといった感じも残りますが、芽吹きの中はすぐそこまでやってきました。学校周辺では、うぐいすの鳴き声が響きました。校庭の工事用防護壁が取り外され、1年前の見晴らしが戻ってきました。一つ節目を通り抜けた気がします。工事をされている方々にも心から「お疲れ様」という思いでいっぱいです。

さて、今年度も最後の最後に来て「臨時休校」という思いも寄らない対応に、はじめは「まさか」と耳を疑いました。しかし、新型コロナウイルスの感染の猛威を前に、そうせざるを得ない状況であることは事実です。学校では、休校中の子ども達やご家族に、如何に安全にこの期間を乗り切り、休校後一刻も早く通常の学校生活に戻すことができることを最優先に考え、現在の対応を行っているところです。最も心配していた卒業式をどうすれば実施できるか、大きな学校ではできないことでも、小さな学校だから、保護者の方々にも出席していただき、全校で卒業を祝うことができる。そのためにもどのような安全対策をとる必要があるか。十分に協議し実施していくことにしました。時間短縮、来賓の方々のご出席を控えていただく縮小体制での実施ではありましたが、「卒業生にとって心温まる式に」という気持ちを念頭に行いました。本日、卒業をした6名が、4月からは天龍中学校生として自信と誇りを持って力強く活躍して行ってほしいと心より願っています。

### The 風景



「深雪せる野路に小さき  
沓（くつ）の跡  
われこそ先に行かましもの  
を」

私が本校に勤務する前からずっと校長室に掛かっていたレプリカです。

大正時代から昭和にかけて、平谷小学校に勤めていた、林芋村（うそん）先生の歌です。この歌は教師として子どもとどんな気持ちで向かうかを表したものとして、長野県教育においてはとても大切にされています。後悔しないように子ども達と関わっていききたいと思います。

「アットホームな雰囲気にも包まれた学校」・・・という感じがいつもします。今後、小中学校の関係をどうしていくか、新型コロナウイルスのために、「小中学校の教育を考える会」が無期延期となっていますが、子ども達にとって、地域にとってより良い方向に進んでいくようみんなで知恵を出し合っていきたいものです。



### 本年度をもって本校を去る先生方

2年担任	古田麻衣先生	（在籍5年）	飯田市立浜井場小学校へ
事務職員	牛山香奈先生	（在籍5年）	諏訪市立城南小学校へ
A L T	マックシーン・ブロディー先生	（在職1年）	故郷オーストラリアへ



お世話になりました・・・

## 卒業式 校長式辞より（抜粋）

昇己君、彩香さん、ここねさん、陽翔君、陽人君、楓さん、ご卒業おめでとうございます。

日々の授業、六年生の教室の横を通るとき、よく、明るく、健やかな笑い声や賑やかな話し声が聞こえます。そうかと思えばただひたすら、黙々と学びに打ち込む姿が見られました。下平先生を中心にぎゅっと一つにまとまった、本当に良いクラスでしたね。児童会活動の中心を担い、初めは不安な様子が見られましたが、ついこの頃のみなさんは全校の前で堂々と発表、発言する、実に頼もしい姿に成長しました。

～（中略）一人一人についての思い出、印象について、一言ずつお話しさせていただきました。～

巣立ちにあたり、私から一つ、お願いを聞いてください。それは、「**自分の周囲にいる人に対して、心のこもった、気持ちの良い挨拶ができる人になってほしい**」ということです。

私たちも含め、人は誰も自分の目の前にいる相手を知るために、まず、挨拶を見ます。健やかな笑顔の気持ちの良い挨拶は、された人の心も爽やかにし、その人と良い関係を築くことができます。私は本校に赴任して、忙しくて大変な時や、身体に疲れがたまっつらい時などみんなの明るく、元気いっばいの挨拶の声に幾度となくエネルギーをもらってこうして今年一年を楽しく過ごすことができました。良い人間関係を築くことができれば、いざという時に力を貸してくれます。助け合うこともできます。ですから是非、気持ちよい心のこもった挨拶で周囲を明るくし、自分自身も良い人間関係を築き、充実した日々を過ごして行って下さい。これが私からのお願いです。

～ 中 略 ～

さて、本日のこの式は年度末の終業の意味のこもった式でもあります。本来行っているはずの終業式が新型コロナウイルス感染予防のため行えてないからです。ですから、全校でこの「**節目の時**」を大切にしたいと思います。

一年生から五年生までの在校生のみなさん、本日六年生が卒業の時を迎え、四月からは、長い間共にすごしてきた六年生と小学校では会うことができなくなります。六年生がこの一年間天龍小学校を盛り上げてくれ、在校生のみなさんを見守ってくれたことを五年生が受け継ぎ、新六年生として全校をリードして下さい。一年生から四年生も、それぞれ学年が一つ上がります。

みなさん、この「**節目の時**」をただ漫然と過ごすのではなく、「今までの自分」をきちんと振り返り、「四月からの自分」はこれを頑張りたい、そして、こうなりたいという願いをしっかりと持てるようにこの「**節目の時**」を過ごして下さい。

